

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		すぎの子	公表日 令和7年 2月 27日			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用児が過ごしやすいように空間確保をしたり、職員の目が届くように活動の配置を行うなど工夫をしております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		児童10人に対し有資格者2人という国の人員配置基準にプラスして指導員を加配しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			対象の方がいないが、車イス対応のトイレがないので、今後対象児に対しては見学等の時に説明を行うようにします。配慮が必要な場合は、職員が介助を行い安全な配慮に努めるように致しますが、バリアフリー化出来ない現状です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		利用児が安心して過ごせるように、清潔に保つようになっています。こども達の活動に合わせて、活動の空間を変えるなどの工夫をおこなっております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		利用児の状況に応じて、個別の部屋や場所を安全に考慮して使用するようおこなっております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		PDCAサイクルを心がけ、活動前後で職員ミーティングを行っております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		この評価を活用し、保護者の方の意向の把握に努めて参ります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ミーティング等を行い、職員の意見の内容を業務改善につなげ、進化していく取り組みをおこなっております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		利用児の保護者と社内のみの評価のみとなっております。今後必要に応じて実施していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		自立支援協議会や子ども部会の研修に参加したり、事業所内研修を行っております。また、スキルアップの為の研修には積極的に参加出来るようにしております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		見学や体験時、面談の時や送迎の際にニーズを把握したり、行動観察を行い記録し、支援計画を作成しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に、直接支援に関わる職員も参加をし個別の課題、集団の中での育ちを踏まえて支援計画を検討作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者が最終的に作成した個別支援計画を職員間で読み共有し、支援をおこなうようにしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			独自のアセスメントでおこなっています。今後、わかりやすいアセスメントを使い、より丁寧な利用児の適応行動の状況や行動観察をおこなってまいります。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		必要な項目を適切に設定しており、保護者が読んでもわかりやすいように、具体的な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		各曜日のリーダーが主になり、利用児の様子や学校終了後の活動時間の長短、季節なども考慮してプログラムを立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		平日や長期休暇等、利用児の様子や季節や時間の長短を考えながら、プログラムを組んでいます。色々な体験も出来るよう工夫してます。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別の課題、集団の中での育ちを踏まえて支援計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		活動前後には、ミーティングをおこなっております。活動前には利用児の様子や活動の流れ、支援方法、送迎の確認をおこないます。活動後は支援の振り返りや利用児の様子、送迎時の保護者対応等の報告を行い、記録しております。終了後振り返りが出来なかった場合は、次の日のミーティング前に行うようにしております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		概ね6ヶ月に1回、支援計画の見直しを行っております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○		4つの基本活動を複数組み合わせる支援をおこなっております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自己選択ができるように、自由遊びを取り入れており、そこで何をして遊ぶか、お友達と一緒に遊ぶのか等、自己決定をする力を育てる工夫をおこなっております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者会議には、児童発達支援管理責任者等の適任者が出席しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関と連携をおこない、支援をおこなう体制を作っております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校とは、直接情報共有等を行っております。また、下校時刻等は保護者より週報等にて情報をいただいております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		年度初めは情報共有を行っております。その後は必要に応じて情報共有を行っていきます。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	対象児がいない為、現在はおこなっていませんが、今後、移行する場合は情報提供をおこなう体制を作っております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		研修を活用させていただいています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		療育の実施時間が限られており、地域の子供達との交流が難しい状況となっております。利用者の状態に応じて必要性があれば支援計画に位置づけた上で考慮していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		協議会内の子ども部会は、事業の特性を考慮して頂き、参加しております。本会には、参加が出来る体制の際は参加しています。	協議会の開催時間が、利用児のお迎えの時間と被ることが多く、部会への参加になっております。引き続き、学童期ならではの、利用児、保護者の困り感を提案し、地域でも支援していけるよう、積極的に参加していきたいと思っております。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳、LINE、送迎時に保護者と伝えあっております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレントトレーニングは行っていないが、学習会をおこなったり、外部研修などがあった際は情報提供をおこなっております。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明させていただいております。また、随時不明な点は職員が説明するようにしております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者には面談や送迎時やモニタリングの際、利用児は事業所に来ている際等、意向を確認する機会を設けております。	保護者ととなかなか時間が合わず、ゆっくりと話をしながら意向の確認をおこなう事が難しいこともあるので、今後、対策を考えていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援の内容につきましては、支援計画の説明の際に行い、必ずサインをいただくようにしています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		いつでも相談が出来る体制（電話、LINE、連絡帳、面談）を取っており、相談があった際はすぐに応じられるようにしております。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	毎月1回第三水曜日にすぎの子カフェを行っております。保護者同士の話をする場として活用して頂けるように支援をしております。	保護者会としての活動は行ってませんが、保護者向けの学習会を開催する予定です。その際に保護者同士の連携が出来るように支援を行ないます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情があった際は、苦情受付・解決担当に繋げ迅速かつ適切に対応するように努めて参ります。また、社内で共有し再発防止に繋がます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月1回すぎの子だよりの発行や行事等の案内文、LINEによる活動の様子のお知らせ等を発信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に記載された書類等は鍵付きのキャビネットに保管しております。関係機関との情報共有等が必須の為、契約時に同意書へのサインを頂き、支援計画に関係機関との連携を記載しております。今後も保護者に説明をおこない理解を得ながら、個人情報には十分注意しておこないます。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		わかりやすい伝達方法を工夫したり、伝わる方法を利用児や保護者に合わせるようにしております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域の郵便局に利用児の作品を展示させて頂いております。	地域住民の方々を招待しての活動等は出来ておりません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルの策定を行い、職員への周知とコロナ関係の対応策についてのマニュアルに関しては保護者にも配布を行っております。	保護者へ各種マニュアルの周知を図ります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		職避難訓練、通報訓練を利用児と行っています、防災に関する研修等がある場合は職員が参加します。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスメントの際に必ず、確認をさせていただいてます。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		対象児がいた際には、学校同様、医師の指示書である学校生活管理表（アレルギー疾患用）（コピー）の提出をお願いし、保護者と面談の上支援していきます。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、計画に沿っておこない、支援をおこなっております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		新年度に各マニュアルを冊子にして配布説明をおこなっております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		危険な事例があった場合、報告書に記載し、ミーティングを通して職員で共有しております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		外部研修に参加したり、事業所内部の研修を行っております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		現在対象児はおりません。今後も身体拘束が必要ない様な支援を行うよう工夫していきます。	